

2011-7-7

ふじさわ・九条の会ニュース



NO25

発行人 ふじさわ・九条の会 事務局長 森崎隆夫 0466-35-7104

Eメール fujisawa9jo@infoseek.jp HP <http://fujisawa9.hp.infoseek.co.jp/>

5/14ふじさわ・九条の会6周年記念ピースパレード

藤沢駅周辺を華やかに行進



5月14日、「ふじさわ・九条の会」結成6周年記念行事として、藤沢市民会館での集会の後、藤沢駅周辺を廻るピースパレードを行いました。コースは、藤沢市民会館～江ノ電ガード下～藤沢駅南口～JRガード下～藤沢郵便局～さいかやまで歩きました。

参加者は170人余、平和のシンボル鳩の切り抜きでボディを飾った宣伝カーを先頭に、各自、横断幕、手造りゼッケンやプラカードを持ち「月桃の花」歌舞団のアイサー、「アフロ湘南」のアフリカ太鼓のリズムに合わせ、元気よく行進しました。鳴り物入りのパレードは市民の注目を集め、沿道から手を振る市民の姿も見られました。

参加した皆さんから「とても楽しかった」「こうしたパレードなら来年またやってもいい」と好評でした。パレードの後、サンパール広場で歌と踊りの集会を行い、市民に訴える事が出来ました。(4面にも、ピースパレードの写真を掲載)

「ふじさわ・九条の会」 6周年の集い

5月14日、藤沢市民会館小ホールで、「ふじさわ・九条の会」6周年の集いが開かれました。参加者300人。今回は、明るく憲法を訴えるパレードもやろうという企画があり、いつもの半分の時間で記念講演というちょっと忙しい集いになりました。

渡辺治氏の記念講演 「日本の進路と憲法九条」



一橋大学名誉教授の渡辺治氏の記念講演は『日本の進路と憲法九条』というタイトルで、大震災以後、東北地方の人々を苦しめ、日本中の国民が不安に思っていることをすっきりと解明してくれる内容でした。渡辺氏は「3・11後の現状は、長年の自民党政治が地方を切り捨てて構造改革を行い、安全基準を引き下げた原発を次々と地方に押し付けてきた結果、起こるべくして起こった人災だ。」と明言されました。財界とアメリカの圧力で自民党以上に舵を切り替えた管政権は、さらに大企業の利益優先・社会保障切り捨ての構造改革を復興の名のもとに行おうとしている。政権は大連立の好機とみているが、「大連立をすれば構造改革も改憲もなんでも出来てしまう今こそ、国民は、復興財源は消費税引き上げなのか？ TPPは東北地方のためになるのか？ 原発はどうしたらよいのか？ などしっかり論議して、考えなければいけない。」と強調されました。そして「本当に憲法9条と25

条が実現する社会づくりの具体的な提案をしなければならない。」と結ばれました。参加者は大いに納得し、溜飲を下げたことでしょう。(折原)

「江ノ電沿線九条の会」が 詩の朗読 (わたしは水です)

「江ノ電沿線九条に会」は、「ふじさわ・九条の会」6周年集会の冒頭に、井上ひさし作「水の手紙」より『わたしは水です』を読ませて頂



きました。小学校4年と6年の子どもたちを含めて10人での朗読で、詩の内容からも、水のリサイクルへの思いからも、時期に適した詩が選ばれたことを喜んでいます。(川崎 典子)

エイサー「月桃の花歌舞団」 アフリカ太鼓「アフロ湘南」を演奏



そのあと「慶応大学九条の会」の学生さんの活動の紹介や「月桃の花」歌舞団のエイサーと「アフロ湘南」のアフリカ太鼓の演奏とにぎやかに続きました。

5月29日

ふじさわ・九条の会 2011年度全体集会開く



5月29日、湘南台市民センターにおいて、ふじさわ・九条の会2011年度全体集会を開きました。参加者は26名、雨の中、1年の運動の反省と来年度の運動方針を討議しました。政治情勢についても、6周年記念講演で 渡辺治さんが語った保守大連立という危険な政治動向について話し合いました。ここでは、この危険な動きがその後どうなっているのか、記すことにします。

保守大連立と 憲法改悪の動き

「民主、自民両党などの有志議員は7日昼、憲法改正の発議要件を衆参両院の各3分の2以上の賛成から両院の過半数に緩和することを目指す「憲法96条改正を目指す議員連盟」の設立総会を開いた。

総会には、両党のほか、国民新党、公明党、みんなの党、たちあがれ日本、無所属の約100人が出席。西岡武夫参院議長も参加した。顧問に森喜朗、麻生太郎、安倍晋三元首相が就任した。

憲法改正案の提出には衆院で100人、参院で50人以上の賛同者が必要なため、改憲に反対の社民、共産両党以外の議員にも参加を呼びかけた。賛同者は200人を超えたという。議連は、活動目標を9条など議

論が対立しやすいテーマを避け、96条改正に絞った。大連立構想が再び浮上するなか、保守系議員による政界再編を目指す動きとの見方」（6/7産経ニュース）彼らは、今すぐ九条を変えようとはいわない。改憲のハードルを低くしよう、その一点で国会議員の三分の二を結集しようとしています。私たちは、安倍元首相や麻生元首相らの進めているこの企みを阻止し、「九条を活かす」活動を進めていく必要があります。（齋藤）

<今年度の活動方針>

- ①、毎月の行動の定例化
毎月9日を市民に向けた宣伝行動日とします。
ただし、5月3日の憲法記念日とします。
- ②、会議は原則として
事務局会議～毎月19日
世話人会～毎月29日、
遇数月は午後、奇数月は夜とします
ただし、推進センターの休館日等で変更することがあります
- ③、世話人会でミニ学習会を行います。
- ④、ニュースは、3ヶ月に1回発行します。
- ⑤ 2011年秋に60名ほどの学習会を開催します。
- ⑥ 2012年5月に7周年記念集会とパレードを予定します。
- ⑦、年2回(春と秋)、地域一斉大量宣伝を実施します。
- ⑧、地域九条の会、近隣九条の会との協力共同を進めます
- ⑨、財政強化のため、カンパ、物品販売を行います。
- ⑩、「私の戦争体験記」第5集を発刊します。

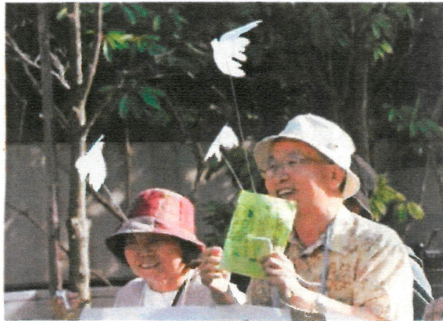
<今後の主な日程>

- 7月20日(水) 事務局会議 18:30～
市民活動推進センター会議室
- 7月29日(金) 第2回世話人会議 18:30
市民活動推進センター会議室
- 8月9日(火) 9の日行動 小田急江ノ島駅
15:00～でチラシ配布
- 8月15日(月) 不戦の誓い平和行動 サンパ
ール広場 16:00～
- 9月9日(金) 9の日行動サンパール 15:00～

<1面より続く> 5.14のピースパレードに持ち寄った

手造りの ゼッケン、プラカード、横断幕、ハトの旗

(5.14ピースパレード・全体集会の写真は、「六会・九条の会」上浦孝彦氏の撮影によるものです。)



<2010年度会計報告>

2010年6月～2011年5月までの1年間の会計報告は下記の通りです。 会計 島田啓子

収入の部	982,666円
前期繰越金	715,718
賛同金	14,000
カンパ	229,898
参加費	18,700
物品販売	1,800
戦争体験記	1,900
雑収入(預金利子)	650
(今年度の収入)	266,948)
支出の部	655,463円
イベント会場費	16,530
講演料	20,000
通信費・メール便代	203,320
広告費・宣伝費	41,500
カンパ	51,500
交流費	22,000
6周年の集い補助	11,738
事務費・運営費	227,113
次期繰越金	324,203円

<2011年度の役員>

一世話人	浅野陽子	井上一恵
青柳節子	岡村孝子	折原美知子
大山正雄	金子不二子	川崎 健
河西 昇	國枝 健	見城次子
久保博夫	小林麻須男	紺野君子
小出岩雄	坂本敏江	崎山 稔
斎藤隆夫	島田啓子	白崎勇次郎
佐藤 厚	鈴木圭子	田島祥子
白田真木	平田保雄	深谷健二
永田陽子	堀内陽子	曲田 弘
保坂治男	村木 薫	元良正子
向井毬夫	吉鶴美智子	渡辺聖子
横山 照	渡辺博明	(以上38人)
渡辺慈子	永山園子	
一会計監査		
一事務局員		
	斎藤(事務局長)、小林(事務局次長)永田(事務局次長)、島田(会計)、金子、久保、佐藤、田島、渡辺(聖) (9人)	
一ニュース担当		
	小林、永田、折原、河西、渡辺(慈) (5人)	